関東同期会、26 名で賑やかに新年を祝う！

2 月 10 日、@銀座

恒例の関東同期新年会を今年も 2 月 10 日（金）18 時から、ホテルモントレ銀座（中央区銀座１丁目）で開催した。
立春を過ぎたとはいえ、当日は東京でも小雪が舞いまだ寒い日が続いている。
昨年 9 月に卒業 50 周年記念同期会をやったばかりで、出席者が少なくなるかと心配したが 26 名の参加で、前年の新年会 23 名を若干上回った。
今回、嬉しいことに同期会初参加が 2 名現れた。増澤幸和（5 組、那須塩原市から）と好沢武好（7 組、横浜在住）のお二人である。
残念なことは、10 組からの出席者がいないのと女性の出席が無かったこと、
幹事のモットーとしては、出席者が少ない時でも毎年継続してやることである。
毎年新しい情報が入ってくることが有益なのと、今のうちにやっておかなくては、そのうちに集まりたくても集まれない時が必ずやってくる。

今年から来年にかけ我々65 期は古希を迎えることになる。昨年卒後 50 周年記念同期会をやったばかりではあるが、来年の 9 月の休日に古希記念同期会を開催する予定である。地元の幹事たちと相談の結果、場所は東京（関東が主催）で行うことになった。

同期会は 50 周年記念誌のスライドショーがスクリーンに流れる中、名司会者、牧野泉（9）の名調子で進められ、冒頭代表幹事二人からスピーチがあった。
まずは上原昇（2）からは、卒後 50 周年記念募金の結果報告がある。集計の結果、190 名の同期から 130 万円の募金が集まった。
使途については、布施修一郎募金委員長（6）から、110 万円は母校に対し、SGH（Super Global High School）活動の一助として寄付し、あと 10 万円は同窓会本部に寄付、残り 10 万円は同期会の予備費として充当するとの報告を受けた。
丸山暢久（4）からは、今 6 月に関東同窓会の役員改選があり、次期会長に上原昇が、筆頭副会長に原田義則（3）が就任することが内定したと報告がある。
乾杯は上田から駆けつけてくれた丸山幸雄 (2) が音頭をとり宴がスタートする。
その後、喧騒のなか何人かの近況報告が続き、宴たけなわのうち、中締めは
永遠の応援団長の西村賢治（9）のリードで校歌を斉唱、無事お開きとなった。
（2 月 11 日、幹事：上原記）

【写真 1】集合写真、前列左から澤崎、丸山（隆)、丸山（暢)、上原、原田、澤井、西澤
後列左から牧野（泉)、塩川、山浦、増澤、浅倉。牧野（泰)、丸山（幸)、櫻田、関、
村田、保屋野、佐藤、土屋、林、好沢、赤尾、成澤、柳澤

【写真 2】丸山幸雄君の発声で乾杯